



〒520-0041  
滋賀県大津市浜町1-3 8  
滋賀銀行従業員組合  
TEL 077-521-2775  
FAX 077-525-5232  
Mail info@sbu-ffs.com  
URL http://sbu-ffs.com/

# 被爆75年 原水爆禁止2020年世界大会(オンライン)

## 被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を —人類と地球の未来のために—

### 《核兵器のない世界》実現の 大きな一歩を踏み出す

被爆から75年となる8月「原水爆禁止世界大会」が開催されました。今年は、新型コロナウイルスの感染拡大と言う状況で、初めてオンライン開催がされました。2日の国際会議、6日の広島デー大会、9日の長崎デー大会の模様がネット配信されました。

組合員や先輩組合員は、県内各地で開催されたネット視聴会や自宅で視聴しました。

### 被爆国の日本政府は、核兵器禁止条約に参加を！

8月6日に開催された、原水爆禁止2020年世界大会・広島デーには、国連の中満泉軍縮担当上級代表や、核兵器禁止条約批准国であるオーストリアのトーマス・ハイノツチ欧州統合外務省軍縮軍備管理不拡散局長らが参加し、核兵器のない世界へ国際的共同を呼びかけました。

主催者報告した富田宏治世界大会起草委員長は、コロナ禍で軍事

**広島デー 8月6日(木)10:00—12:30**

- 主催者報告、被爆者代表の報告、「平和の波」開始宣言、ゲストスピーカー発言
- 世界大会—広島デーセッション1 核兵器のない世界への共同
- 世界大会—広島デーセッション2 日本と世界、草の根の運動の交流
- 文化プログラム/主催者の声明 (広島からのよびかけ)

トーマス・ハイノツチ (オーストリア欧州統合外務省 大使 (核兵器廃絶国際キャンペーン (フォトン) ナリト) / 軍縮軍備管理不拡散局長)  
ベアトリス・フィン (核兵器廃絶国際キャンペーン (フォトン) ナリト) / ICAN事務局長  
安田素子 (フォトジャーナリスト)  
中野英一 (安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合)  
松井一貴 (広島市長)

費を大幅に削り、国民の命と安全を優先する政策への転換が求められると指摘。唯一の戦争被爆国である日本政府に対し、「核兵器禁止条約に参加するとともに、核兵器のない世界を目指す世界的流れの先頭に立つよう求め」と述べました。

### 核兵器の存在は、人類に対する重大な脅威 唯一の解決は廃絶

「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を—人類と地球の未来のために」をテーマに開かれた、原水爆禁止2020年世界大会・長崎デーは、「長崎からすべての国の政府への手紙」を發表し、「核兵器禁止条約への署名と批准をす

**長崎デー 8月9日(日)10:00—12:30**

- 主催者報告、被爆者代表の報告、ゲストスピーカー発言
- 世界大会—長崎デーセッション1 核兵器のない世界への共同
- 世界大会—長崎デーセッション2 日本と世界、草の根の運動の交流
- 文化プログラム/「平和の波」 総結宣言
- 主催者の声明 (各国政府への手紙のない世界へのメッセージ)

フリッツ・ジュニグズ (国際原子力研究所 (IAEA) 事務局長)  
カルロス・ウマニャ (核兵器禁止国際条約会議 (NPT) 事務局長)  
吉原 聡 (原水研 (原水爆禁止国際条約会議) 事務局長)  
武本隆弘 (原水研 (原水爆禁止国際条約会議) 事務局長)  
田上富久 (長崎市長)



みやかに行うこと」などを求めました。

政府代表として、延期された核不拡散条約(NPT)再検討会議の軍縮委員会委員長となるマレーシア国連大使のサイード・モハマド・ハスリン氏、核兵器禁止条約の採択に尽力したメキシコからメルバ・プリーア駐日大使が参加し、「核兵器が存在し続けることは、人類に対する重大な脅威。唯一の解決は廃絶しかない」(サイード氏)と強調しました。

### 田上富久長崎市長「一日も早く禁止条約の署名・批准の実現を」と呼びかけ



長崎平和祈念式典で、田上富久市長が「平和宣言」をおこない、「国連で採択された核兵器禁止条約は『核兵器はなくすべきだ』という人類の意思を明確にした条約」だと指摘し、被爆75年、国連創設75年の節目の今こそ「核兵器廃絶は、人類が自らに課した約束である」と思い出すべきだとし、日本政府と国会議員に対し一日も早く禁止条約の署名・批准の実現を呼びかけました。

### 職場の声

6月にパワハラ防止法が施行されました。過去のこととはいえ

### 《許されない行為》

革靴で向う脛を蹴られ内出血した。分厚い還元資料を丸め、頭部を力一杯叩かれた。夜間金庫の靴についた南京錠の部分で、顔を殴られた。輻輳してどう

### 《許されない言動》

にもならない時に到底できない事を故意に押し付ける。今できない事を告げると、何もしなくて良い、仕事を全く与えない。机の上に水をまかれた。出勤の際、インターホンを鳴らしても、わざと開けず、外でずっと待たされた。店周の溝掃除、鉄の溝蓋を全て上げ、スコップで土砂を救い上げる、一日かかってやっていると指示あり。

お前は今までの中で最低の行員、お前を採用了した人事部に顛末書書いてもらわなあかん。お前の親があほやからお前のようなあほな奴が生まれるのや。あなたにいい事言ってみたら、それくらいならできるでしょう。以上のようなパワハラを私は上司から受けてきました。





# 「終戦の日」に想う

## 兵士を襲った感染症と飢餓 インパール作戦とビルマ

アジア・太平洋戦争の終戦から75年になる8月15日、送り火を終え、家族と滋賀県平和祈念館を訪ねた。同館の第26回企画展示「兵士を襲った感染症と飢餓―インパール作戦とビルマ―」は衝撃を与えるものであった。飢えと感染症に倒れた兵士の無念を思うと、反戦・平和の声を上げ続けなければならないと思う。

### ビルマ・インドでの戦没者は167千人

日本から2千km以上

も遠く離れたビルマ（現在のミャンマー）は、アジア・太平洋戦争において、日本軍がインドのイギリス軍や

中国雲南地域の中

後のビルマでの戦争を

中心に、戦場に蔓延したマラリアや赤痢などの感染症に苦しめられた兵士たちの姿を体験談やモノ資料で紹介さ

### ビルマでの戦争 インパール作戦の敗北

（案内チラシより）



日本軍のビルマへの進軍（昭和17年1月、タイ国境付近）  
〔写真報道記ビルマ〕第214号、昭和18年9月、朝日新聞社（絵本武吉さん、提供）

### 小林 育三郎 さんの『ビルマ戦場日記』より

#### 感染症にも敗れたビルマの日本軍

第53師団（歩兵第119連隊第2大隊第2機関銃中隊）の中隊長だった小林育三郎さんは従軍中、日々の出来事を日記に書き記しました。戦後、日記をもとに出版した『ビルマ戦場日記』には、ビルマの戦場で見えない感染症という敵に敗れた日本軍の最後の姿が記されています。

7月29日 シェンジ南方 ※シェンジはビルマ南部の地名  
三時「森口が死にました」と銃前哨に起こされる。清水が腫を診る。まだあり。しかし、最早時間の問題。五時、清水「今死亡」とうとう再起不能。ビルマの土になったか。  
七時半全員整列して埋葬。さきに田島、今また森口と二人を失う。六中隊の二柱と共に四つのお墓を眺めて胸がきむしられる。弾に斃れるは本望なのに無念マラリアで二名も死ぬ。中隊現員二十九名。  
坂本軍医の来診も遅かった。菊池のアメーバ（アメーバ赤痢）も危険と言う。昨日から今日にかけて熱発（発熱患者）続出。不思議に熱発一名もない時が続くかと思えば、出れば続出。俺も体がだるい。三十九度四分。 ―以下略（後略）―

小林さんの部隊が終戦を知ったのは8月20日でした。

8月15日 シェンジ南方  
患者続出で待ち兼ねた坂本軍医がやって来る。井狩、坂川、滝、清水、中野、松原と十一名の内の六名が熱発して勤務の割出しに西苦八苦する。  
俸給が縮く。七、八、九月分で三百四十五円。前渡り分までくれる。これで千五百円からの金持になったが「猫に小判」このジャングルでは使えないようもなし。  
一日中、功績整理。戦闘期別に参加人数を出して此の期間の戦死、戦病死、入院と細かい事務に頭が痛い。夕方完了する。今日は大仕事。

8月28日 シェンジ南方  
一昨日、死亡通知を受けた三名を追加して、死没兵の功績整理。之で中隊の死没者九十九名となる。生存者八十一名。この内、入院患者五十二名でこの中に死没している者は半分以上あるだろう。あれを思い、これと思うとよくぞ今日まで命ありと感無量。  
福永がやって来る。「明日（捕虜収容所へ）出発」の命令伝達。いよいよこの陣地を立つ。 ―中略― 明日から我々はどなるのか何も判っていないが、『最後の晩餐』はみんな揃って賑やか。熟するのを待っていたバナナも今日限りの命。  
〔引用文献：小林育三郎『ビルマ戦場日記』昭和56年、叢文社発行）

## 誰もが暮らせる賃金へ！ 雇用か賃金かではない！

滋賀県最低賃金審議会が7月8日から開かれています。

また、日本商工会議所・東京商工会議所らは「引き上げ凍結も視野に、明確な根拠のもとで納得感のある水準決定を」とする「最低賃金に

関係する要望」をまとめました。

滋賀最低賃金審議会を前に7月20日労働局長と審議会会長に宛て「低賃金労働者の底上げ、賃金底上げで内需拡大をさせる、貧困と格差の解消という目的を念頭に最低賃金額の決定を行うこと」「閉鎖的である審議会の姿を改め、全面公開すべき」と求めました。

### 県労連が審議会に意見を届ける

「雇用か賃金か、慎重な選択を求める」と雇用を守るために賃金を抑制すべきと

を重く見て、第2回

7月22日の第2回

審議会では事前に公示されていた意見聴

取に基づいて意見の陳述を行いました。意見書は県労連とコープしが労組より提出しました。県労連の山元事務局長は、陳述で深刻な生活状況にある最賃付近で働く労働者の声と姿に触れ、「滋賀県最低賃金審議会が県内で働く労働者の期待に応え、憲法で保障されている生活と、生計費などの実態に即した最低賃金の改正をするように」と求めました。（谷）

### 身近な戦争の記録 平和を願う思い重ねて

昨年、町内の方が、戦争中の写真や絵葉書など53点を持って訪ねてこられた。自分にとっては大切なものだが、いづれ廃棄されるだろうと案じてのことであった。お預かりし、平和祈念館に保存していただくことにした。ご本人に「預かり書」も届き、会う度に礼を

